

令和5年度 第4回アイデア発表会

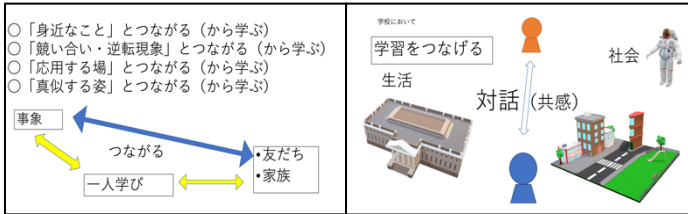
文責：緒方（桜木小）

10月13日（金）のアイデア発表会では、熊本市立月出小学校の高宗 智史 先生による「つながりから広がる！つなげて深める学習」、玉海市立小天小学校の北島 智博 先生による「授業を単元の学習課題につなげる取り組みと振り返りの活用」の2つの発表がありました。

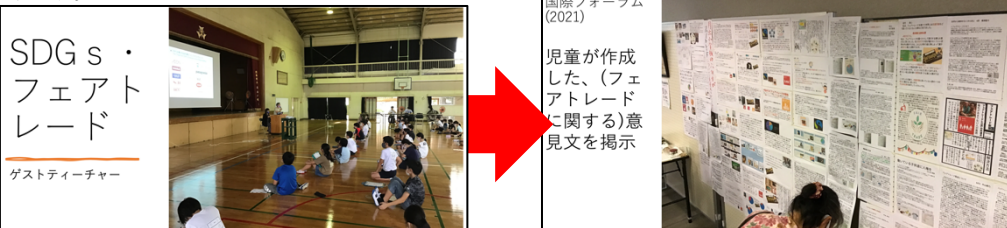
月出小学校 高宗 智史 先生の実践

「言葉につなげたい・興味をつなげたい」という高宗先生の思いを強く感じました。下の図のようにつながるからこそ学ぶ必然性を高く持つことができ、学校においても学習が実社会とつながることが大切だと学びました。

教科書で学ぶ「一般的な学習」から学んだことをもとにその発展で「体験的な学習」を行う過程がよく見られます。しかし、高宗先生の実践ではこの過程を逆にさせて授業づくりをされていました。



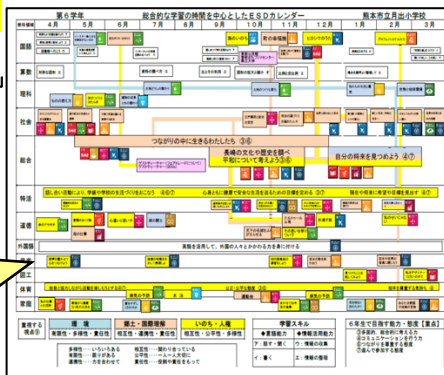
「世界に向けて意見文を書こう」（東京書籍6年）の単元では、まずフェアトレードについてゲストティーチャーにお話いただき、問題との出会いを通して動機づけを行われていました。そこから教科書の単元に入ることで、子どもたちが目的をもって学ぶことができていました。そして、完成した意見文は、フェアトレード国際フォーラムや地域の銀行に掲示してもらい、さらに学習を生活とつなげながら学べたようです。



★このような地域人材の活用や表現の場は、町づくりセンターや社会主事の方々にお話を聞いてみると、たくさんのつながりを紹介していただけるようです！

また、学校全体でもESD「持続可能な開発のための教育」をもとにカリキュラムマネジメントに取り組んでいると紹介がありました。月出小学校では、「持続可能な社会づくりの6つの構成概念」や「SDGs」の目標項目をもとに、学年ごとにESDカレンダーを作成されているそうです。

ESDカレンダーのような年間計画は、本当はPDCAサイクルで、毎日でも振り返り、常に更新していくことが大事です！



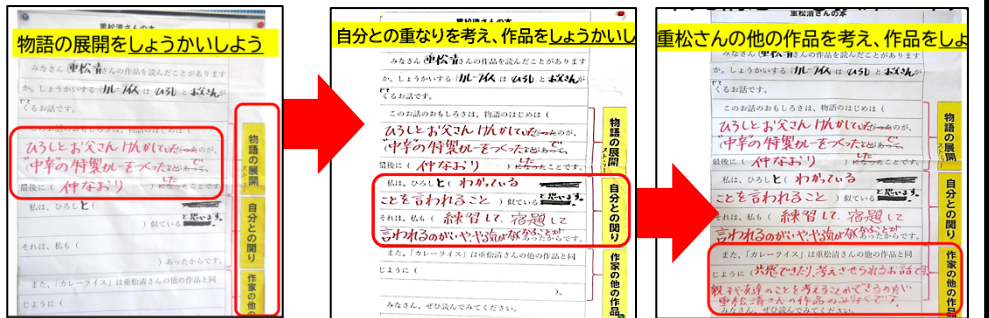
小天小学校 北島 智博 先生の実践

「単元の終末で成果物を作成するときに、何をすればいいかわからない子どもたち」北島先生がそんな子どもたちをなんとか救いたと考えられた実践でした。

実践では「作家で広げるわたしたちの読書」カレーライス（重松清）と「相手や目的を明確にして、すいせんする文章を書こう この本、おすすめします」（光村図書5年）を複合単元として扱われていて、単元の学習課題を【お気に入りの作家さんを見つけて、作品を天水図書館でしようかいしょう】とされていました。単元構想にあたっては、

- ① 身につける力を明確に
- ② 授業を単元の学習課題に直結させる
- ③ カリキュラム・マネジメント

の3つを意識されたそうです。特に、②の「授業を単元の学習課題に直結させる」が今回の北島先生の見どころでした。下の写真のように、振り返りの時間を活用しながら学んだことを積み重ねていきます。単元のゴールが授業中に完成するので、全ての子どもが紹介文を書くことができていました。



単元終末では、ここで学んだ紹介文の書き方を使って、自分のお気に入りの作家さんを紹介する文を書き、学校や地域の図書館で展示コーナーを作ったそうです。

最後に、ICTを活用した振り返りの工夫についてもご紹介いただきました。北島先生は、「熊本の学び推進プラン」の視点のもと、Excelデータの共同編集シートを活用されていました。授業の達成度を数値化したり、友達と振り返りを共有したりと、子どもにとっても、教師にとっても価値ある振り返りとなっていました。

教師のコーディネート 振り返りの充実・活用

日付	1 授業の振り返り	2 友達の振り返り	3 単元の振り返り	4 単元の振り返り	5 単元の振り返り
7月10日	5	4	5	5	5
7月11日	5	5	5	5	5
7月12日	5	5	5	5	5
7月13日	5	4	5	5	5
7月14日	5	5	5	5	5

Microsoft Teams にexcelを共有すると共同編集ができますよ

★このシートの作成は、ICT支援員さんに協力していただいたそうです！

◎ご参加された先生方の感想を紹介します。

総合的な学習の時間との関連を図りながら、効果的な学習を進められていることが素晴らしいと思いました。そして、Excel 表を効果的に活用して、振り返りを充実させてらっしゃるのにびっくりしました。素晴らしい実践だと思います。ありがとうございました。

途中からの参加となってしまいましたが、大変勉強になりました。

特に、振り返りの活用は、私自身、悩んでいたところなので、今日学んだことをすぐにでも実践に移したいです。

お二人の先生方の授業を受ける子ども達は幸せだと思いました。当該学年で身に付ける力は意識して授業を行っていますが、あのよう
高学年で深く学べる子どもの姿も意識して授業に臨もうと思います。

高宗先生、北島先生、貴重な授業実践をご発表いただきありがとうございました。

お二人の実践には、子どもたちが単元を通して意欲を持ち続けながら学ぶ工夫がたくさんあり、大変参考になりました。特に、「体験的な学習」から「一般的な学習」へ向かう授業展開や単元の学習課題に直結する授業づくりは、私もやってみたいと思いました。また、どちらの学校でも教育目標に関連させたカリキュラムマネジメントを行っておられ、内容も魅力的でした。今回のアイデア発表は、お二人の共通点などつながりがあって面白かったです。

改めて、高宗先生、北島先生ご発表いただきありがとうございました。

略儀ながら、書面をもちまして発表のまとめとお礼のあいさつとさせていただきます。 県小国研 編集部